

■ 品質確保・生産性向上等の取り組みについて【令和8年度ポイント】

1. 業務内容に応じた適切な発注方式の選定

- P5: 業務規模に応じた契約方式の選定【更新】
 - ✓ 適用額の改定 R8.4 から WTO 対象業務の対象金額が 8,100 万円以上→9,000 万円以上に変更

2. プロポーザル方式及び総合評価落札方式の各種試行等

- P14: 入札・契約手続方式における各種試行一覧【追加】
- P17: 総合評価落札方式(簡易(特別)型・業務能力評価型)〔北陸試行〕【追加】
 - ✓ 技術者育成タイプの新規試行開始
- P22: 総合評価落札方式(標準型1:3) 評価テーマ1 課題試行〔北陸試行〕【追加】
- P23: プロポーザル方式&総合評価落札方式
 - 地域特性を踏まえた検討を行う業務における発注方式(試行)【追加】
- P27: 予定技術者の手持ち業務量の緩和について【更新】
 - ✓ 令和8年度においても継続試行
- P28: 技術提案書に係るヒアリングの実施について【更新】
 - ✓ プロポーザル方式において、原則ヒアリング実施
- P31: 評価期間における出産・育児等による休業期間の取り扱い【追加】

3. 低入札対策

- P35: 低入札の発生状況とこれまでの取り組み【更新】
 - ✓ グラフの更新(R7)
- P37: 総合評価落札方式における技術提案の履行確実性審査①【更新】
 - ✓ 履行確実性のヒアリング実施について、予定価格の制限の範囲内の価格で入札した者のうち、調査基準価格又は調査基準価格相当額以上の価格で入札した者については、ヒアリングを実施しない場合がある旨加筆
- P38: 総合評価落札方式における技術提案の履行確実性審査②【更新】
 - ✓ 箱書き内に注記を加筆

4. 良く分かる設計業務等の品質確保&業務履行の平準化ガイド

- P59: 設計段階における新技術・新工法検討【追加】
 - ✓ R8.4「設計段階における新技術・新工法検討の手引き」策定
 - ✓ 有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討に際して、条件明示チェックシートを活用するとともに、詳細設計照査要領において照査項目を追加
- P60: 建設コンサルタント業務等における生成AI利活用
 - ✓ R8.8 から利活用開始
 - ✓ 生成AIを利活用する場合の「情報漏洩リスクへの対応」に関することとして受注者において、生成AI利活用計画書の作成と発注者への提出が義務付け
 - ✓ 「機械可読性の向上」として、今後の生成AI等による利活用を見据え、業務成果物において、生成AI等が認識・解析しやすい形式として構造化及び機械可読性向上に配慮した成果のとりまとめの努力義務
 - ✓ 「生成AIを用いた成果物の留意事項」として、生成AIを用いた成果物が契約書第8条に定める特許権等の第三者の権利の対象となりうることに留意し、生成AIを用いて作成した成果又は生成AIが成果内容の作成に実質的に寄与した箇所については、その旨を成果物に明示
 - ✓ 特に画像作成等で生成AIを利用した場合には原則その旨の注釈が必要
- P61: 業務委託関係 提出書類等様式【追加】
 - ✓ WEB ページのリニューアル紹介

5. 良く分かる設計と工事の図面 更新無し

6. 土木設計業務等変更ガイドライン及び事例集 等

- P70: 建設コンサルタント業務等におけるスライド条項の取り扱い【追加】
 - ✓ R8.4 以降に契約締結となった業務において、適用
 - ✓ 全体スライドとインフレスライドの2種類あり、全体スライドについては、契約締結から12ヵ月以上経過後、インフレスライドについては、履行期間に関係なく、急激な物価・賃金等の変動時に適用可能
- P71: 設計業務等における猛暑・熱中症対策【追加】
 - ✓ 猛暑期間・時間を踏まえた業務発注の取り組み内容及び、熱中症対策に係る費用計上の紹介